

平成 30 年 6 月 19 日

平成 30 年度 第 1 回 学校関係者評価委員会報告書

作成者：ベルエポック美容専門学校 遠藤

日時：平成 30 年 6 月 19 日（火曜日）10:00～12:00

場所：ベルエポック美容専門学校 第 5 校舎 102 教室

参加者：＜委員会メンバー＞

村橋 哲矢 様：東京都美容衛生同業組合 専務理事
雑賀 英敏 様：トニーアンドガイ ジャパン 代表取締役（欠席）
青木 健真 様：卒業生代表 Lipps 吉祥寺店 店長
上田 和宏 様：卒業生代表 Lowha 店長
曾我尾 順一 様：保護者代表
川野 みゆき 様：第一学院高等学校 教務運営支援室 課長
小泉 由梨 様：穩伝表参道町会 会長

＜事務局メンバー＞

中村 道雄：学校法人東京滋慶学園 理事長
岩村 勇：ベルエポック美容専門学校グループ 運営本部長
大谷 啓一：ベルエポック美容専門学校 学校長
三井 真以子：ベルエポック美容専門学校 事務局長代理
藤本 拓也：ベルエポック美容専門学校 教務部長兼美容師科学科長
古川 喜春：ベルエポック美容専門学校 キャリアセンター センター長
東 健一：ベルエポック美容専門学校 学生サービスセンター センター長

10:00 ＜校舎見学＞

委員会メンバー第 1 校舎に集合頂き、藤本教務部長案内のもと校舎内を見学した。

10:25 三井局長の号令で開会

10:28 中村理事長挨拶

職業実践専門課程は 4 年目を迎えた。本日は忌憚なき意見を頂きたい。

文部科学省発表では課程申請が増えないとの話があった。現状では 33.8%程度の学校が認定を受けている。公表できるような学校が少ないのが現状。おかげ様で本校は申請ができています。本日は頂いた意見を参考により良い学校にしていきたいと考えています。

10:30 大谷学校長挨拶

今回初めてご出席頂いている方もいらっしゃるが、忌憚のないご意見を頂きたい。本校は地域制があるが、様々な学生が居るが学生についてもいけんを頂きたい。

10:30 岩村本部長挨拶

4校グループ校があるが、学生募集が年々厳しくなっていく中ベルエポックグループは年々学生が増えている。4校で今年1070名の入学生を迎えた。その中でも原宿校は特に学生数が多い学校になるが、このような学校関係者評価者委員会などを通してさらに学校づくりに研鑽していきたい。本日は宜しく願いいたします。

10:35 三井局長

資料確認

配布資料確認

1. 会議次第
2. 産学協同の冊子
3. 会議資料：評価シート（A3）
4. 滋慶学園パンフレット（2種類）

【学校関係者評価委員会目的の確認】

各学校が自らの教育活動等の成果や取り組みを不断に検証することにより

1. 各学校が、自らの教育活動そのほかの学校運営について、組織的・継続的な改善を図る。
2. 学校評価の実施・結果の公表により、てきせつに説明責任を果たすとともに、保護者・地域住民等から理解と参画を得て、その連携協力による学校づくりを進めること
3. 設置者が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じる事により、教育水準の保証・向上を図ること。

【評価の実施方法】

1. 各学校の教職員が行なう評価《自己評価》
2. 保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会が、自己評価の結果について評価する事を基本として行なう評価《学校関係者評価》
3. 学校と直接関係を有しない専門家等による客観的な評価《第三者評価》

本校では美容師科が《職業実践専門課程》となる。

目的：職業に必要な実践かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術について組織的な教育を行なうものを文部科学大臣が認定・・・

その他、配布資料参照

5月に昨年度の自己点検、自己評価を行い本日が学校関係者評価委員の実施
本日頂いた意見を、次年度の事業計画に反映し教育に生かしていくようになる。

【平成29年度美容師科報告】

・H29年度重点項目

- 1、中途退学者7%
- 2、就職率100%
- 3、資格取得率100%

を達成するために1つ目、本校が実施する原宿コラボレーションを通じて産学協同の実践から業界で求められる技術力とコミュニケーション力を持った人材育成が出来る教育システムを構築する。2つ目に「自己変革型」の人材を輩出するために自己成長が実感できるポートフォリオを全学科で取り入れていく。

《結果》

中途退学者数

目標：25名／314名(7.9%)

実績：28名／314名(8.9%)(昨年4.6%)

転出者数

実績：0名(12名) ※転出+DO数26名(8.7%)

国家資格

目標：100%

実績：93.1%

就職率(内定率)：3月末時点

目標：100%

実績：87.6%(116／129)

以上の事を目標として取り組み、自己評価を行なった。

(抜粋)

「職業人教育を通じて社会に貢献する」が我々学園のミッションになっている

「実学教育」「人間教育」「国際教育」を通じて専門性を身に付け資格を有し仕事に就き永続的に活躍できる人材を育成することが本校の教育理念になっている。

自己変革型人材を育成するために

- ① ポートフォリオの導入と7つの習慣強化
- ② ベル4校の成功事例を共有していく
- ③ 教務研修の実施(コーチング研修)

学校運営としては、常にイノベーションの視点を持ち社会に受け入れられる学科・サービスを開発・提供する。

指導要領を講師、職員で共有し学生には便覧として配布し周知している。

《養成目的》《教育目標》を各学科で掲げている。またカリキュラム内容についても法制度・業界のニーズ・環境を毎年調査しカリキュラムの見直しを行なっている。

それに基づき、学年目標や資格などが体形的にカリキュラムに取り入れられている。

本校で授業を実際に教えているのは非常勤講師になる。現場で活躍しながら学生の授業を行なって頂いている。非常勤講師に対して学生の授業アンケートを実施し、教授力の向上に努めている。前期・後期で年に2回実施。

産学協同について ※配布資料産学協同の冊子

「原宿コラボレーション」では、原宿界隈のサロン・企業様と連携して学生の現場実習を経験し授業以外の場所でも技術力・コミュニケーション力を現場を通じて学んでいる。就職活動時も卒業生を中心に就職の具体的な活動や求められている人材像についてポイントを教えていただいている。実践を通じて学んでいる。

1年間で1000件以上の現場があり、2000名程の学生が参加している。中にはそこから就職に繋がっている学生もいる。多い学生だと40件ほどの現場に行っている。プリクラ機やユーチューバーなどのイベントも学内ホールで行なわれ、演者のヘアメイクを学生が担当し、学内にも現場があり業界と直結した学校ということでブランディングしている。

教育活動について

最新の美容を学べる学校という点では高校生や在校生にも人気のサロンの方によるサロンゼミや、化粧品ブランドMACの店舗でのトレンドの授業など実施。

学生支援としては担任とキャリアセンターで連携し学生サポート。就職については1年生後期から業界講話や模擬面接を行い意識付けを行なっている。

社会貢献では地域清掃、プラチナ会への参加

【評価について】

『自己評価報告書』から注項目をA3の用紙にまとめているのでそちらの内容確認して頂き、本来5段階評価であるが細かすぎてわかり難いので3段階評価で自己評価をしている。同じ要領で委員の皆様にも評価をお願いしたい。この場でではなく後日返信封筒でご返信頂きたい。頂いた内容は委員の皆様のご意見を反映させ、学校ホームページを通じて情報公開していく。

H30年度重点目標

<定量目標の説明>

- ・入学者数400名以上
- ・退学率6.8%以内
- ・就職率(内定率)100%の実現

<重点項目>

1. 原宿コラボレーションで原宿地域・文化・企業の方と連携を図り業界連携力と情報発信力を強化していく。これらを受け教育システムを構築していく。
2. 自己変革型の人材排出として学生自らが考え行動できる人材養成を行う。

2つ目の項目については、局長の想いとしてI Aの時代になっていくがA Iの時代に負けない「人間力」を強化していきたい。そのためにもまずは、教職員が人間力を強化し学生たちへ伝えていこうという思いがある。

<委員討議>

村橋様)

人間力は重要になってくる。また、変化の激しい時代に対応できる力というのは今一番重要だと認識している。今年、美容サミットを実施しその時の課題を取り上げ美容師、メーカー、経営者、美容学校を招いて外国人の就業問題について様々な話をした。意見は賛否両論あったが、方向としては確実に開放の方向に向っている。国全体で行なうのか東京特区で行なうかはまだまだ議論が必要だが、実際に保証ケアを広げた場合、業界だけではなく学校教育も大きな変化が確実に出てくる。その場合の対応できる人材や考え方が求められる。そう言う意味でも2つ目の「自己変革型の人材排出」は非常に重要だ。それ以外の目標も非常にいい目標を掲げておられ、教育が充実していると感じる。

上田様)

自分が学生の時よりはるかに充実していて恵まれていると感じた。学生に、この目標を理解してもらえるかが重要。決めた大人だけ満足せずに、学生にきちんと理解してもらうことが重要と感じる。

青木委員)

人間力強化は美容師として重要。就職でもその場だけはすぐ見破られてしまう。面接という短い時間ではあるが、面接官はしっかり見ている。学生のうちから人間力をしっかり教育していけばしっかりした人材が生まれてくる。いい学校になると思う。

川野様)

ポートフォリオの作成はいい取り組みだがそれをどのように活用しているのか？

→年間通じて全てやり切れていないのが現状。担任が抱えている学生数も多く一人ひとりの学生を見ていく、チェックしていくことがなかなか出来なかった。やりきれなかったのと、どのような効果があるのかが検証できていないのは反省点である。

退学者の傾向についてと、その後についてはどうなっているのか？

→時期によって異なるが、4月、5月の早い段階での退学者の傾向としては美容の仕事に就くという動機が高校生の頃から浅い人が多い。

夏休明けごろは校風が合わない、馴染めないなど学校への居場所を見つけられない学生が多い。アルバイトや地元などに居場所があると感じる学生が退学している傾向がある。

その他の要因もあるが、大きく言うと以上のような事が主要因である。

就職について3月に決まらなかった卒業生の支援はどのようにしているのか？または、美容以外の職業についての学生はどれくらいいたのか？

→美容の専門以外で就職した学生は8名。その学生は在学中のアルバイトを継続していたり学校の支援を希望しないと、保護者にも確認を取り就職支援希望しないの判断をしている。

→卒業時未内定の13名は現在2名が未内定。担当を決めて1人1人追いかけている。

小泉様)

人間力についてはどこの世界に行っても必要な事だと感じている。人と人と繋がる事でそれだけパワーが出てくるという実感を感じてもらおうと、自信となり自己改革ができるのではないかと思う。

渋谷区では、小中学校全てでタブレット中心での授業が行なわれている。そのような授業を受けた子達が将来入学してくるようになる。そういった学生への対応策も必要となってくると思う。

原宿コラボレーションは冊子を見ると地元の企業は実際少ないように感じる。原宿表参道けやき会や原宿竹下商店会への参加は地域への宣伝になり、顔見知りとなる東京デザインの先生方は様々な会合に参加されていて、名前を宣伝されている。原宿の街へのPRにもなり皆さんと顔見知りになるのは一番手っ取り早く出来る。

原宿地区美化推進委員会が偶数月の第2日曜日9時から一斉の清掃活動があり200名以上が参加している。原宿表参道けやき会での表参道清掃活動の参加そちらへの参加も地域への影響がある。

曾我尾さま)

長女、長男がベルエポックを選んだのは就職100%が決定的だった。退学率は平均的にどうなのか？0に近づけていただきたい。就職後の人間関係が重要になるがその辺の教育をしていただきたい。また、美容の現場の声を学生へ伝えて頂きたい。

美容の業界は離職率は多いのか？

→他の職業に比べると多いのが現状である。

実際に働いている方に話を聴いても楽しいというよりも「大変だ」と言う事を多く聞くので、親としては心配ではある。

青木様)

LIPPSは定年まで働ける美容室というのが社長の考え。自分が入って10年経つがその時に比べると休みも週休2日でほぼ取れている、モデルハントも街に出たのハントだけでなくタブレットSNSを利用してのハントもしている。サロンによって形態は異なるが、就職先を決める際にそのような事も視点として持ってもいいと思う。

三井)

学校としても毎年同窓会を実施しており、卒業生へ向けての卒後支援等で学校が出来る事がないか現在検討もしている。

村橋様)

特にベルエポックは原宿にあり華やかな体験を学校でしすぎてしまう。実際社会に出た時に現実と理想のギャップを感じてしまう。そこはわかっている事である程度の事はカバーできるが、極端になると離職に繋がるのは事実。原宿にある華やかなサロンを希望する傾向があるが、そのようなサロンは、永久的に働けるような体制ではない。30代後半は原宿地域での雇用が厳しくなる。そのように仕向けているところもある。又は大手チェーン店になると、早期育成でスタイリストにし売り上げを上げられるようにと、コツコツタイプの人材は優遇されない。すぐ売り上げあげられるひとは短期間優遇される。全体的に考えるとコツコツやっているほうが様々な面で成功し続けている。業界もそこに気づき、変化し

てきている。学生のうちに、色々なサロンの人や先輩から話を聴くのは非常に重要になってくると思う。

東) 海外からの美容人材ということで、実際に就業ビザの拡大となっていた場合、養成機関として美容師については学校の裁量で入学させられない。国の試験を受けなくてはいけない。レベルが相当高いようだ。個々の養成校の努力だけではなかなか出来ないのが現状だが、今後そういったことに対しての計画や動きはあるのか？

村橋様)

資格は取れるが実際の就業が出来ないという矛盾は少しずつ解消すると思うが・・・
東京都としては改善に向けて動き出しているが100%上手くいくかはわからない。
最低500万ないと語学学校、美容学校へは通えないのが現状。

小泉様)

入学式、卒業式では様々な国の国旗があるがその方たちはどうなっているのか？

→現在ベルエポックでは留学生は1名、製菓・調理系の学校での留学生が多い

外国の方が働く場所が多くなっているはずなのに・・・小中学生が原宿の街で、外国人にインタビューする授業がある。幼い頃から外国人とのコミュニケーション授業が行なわれている。国際人としての土壌がある。

以上で終了

備考：次回開催予定 平成30年9月25日（火曜日）